

 <p>おひめ 農業委員会だより</p>	令和8年2月
	第89号
	編集・発行 青梅市農業委員会 農政部会
	青梅市東青梅1-11-1 電話(0428)22-1111 内線:2349



親子農業体験で田植えを行った藤橋2丁目の水田において、10月12日、雨天の為、経営部会員で稲刈りを開催しました。体験会は、農業委員会と西東京農業協同組合（JA西東京）の食農教育応援事業の一環として共催で実施しています。

当日は経営部会員で稲刈りを行い、刈った稲を束にまとめて「はざ」に掛けていきました。

後日、脱穀作業を実施したところ、165kgの量を収穫することができました。収穫したお米は精米後、参加者へ5kgずつ配付しました。お米を渡した参加者の方々からは「楽しかった」「次回も参加したい」との感想をいただき、年間を通して有意義な体験会となりました。また、残りを食育事業の一環としてフードバンクへの寄付を行いました。

## 直売会、農業祭、各地区共進会が開催されました！

市内農業者団体による直売会が、11月3日に青梅市役所で開催されました。直売会は産業観光まつりと併せて開催され、白菜、キャベツ、里芋、花苗、柿、鶏卵、お茶など合計で400点以上の出品がありました。当日は、たくさんの市民の方が会場を訪れ、地場産の農産物を手に取っていただきました。一方、JA西東京主催による、JA西東京農業祭が11月23日にかすみ直売センターにて開催され、市内の農産物等の販売が行われ大盛況を収めました。

また、各地区の農産物共進会も開催され、それぞれ農産物および園芸作品の審査が行われ、優れた出品物には特別賞が贈られました。



11月23日	11月9日	11月8日	11月8日	11月8日	実施日	各地区共進会 青梅市長賞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄せ植え 増田 ますみ</li> <li>・柚子 福島 正文</li> </ul> JA西東京農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大根 西村 直男</li> </ul> 成木地区文化祭 成木地区農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キウイフルーツ 宿谷 義雄</li> </ul> 小曾木地区農業祭 農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅干 原島 富代</li> </ul> 梅郷地区総合文化祭 農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白菜 小峰 敏明</li> </ul> 三田地区総合文化祭 農産物共進会	内容および受賞者(敬称略)	

11月23日	11月9日	11月8日	11月8日	11月8日	実施日	各地区共進会 農業委員会長賞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄せ植え 相田 知子</li> <li>・にんじん 古屋 清太</li> </ul> JA西東京農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里芋 篠田 市夫</li> </ul> 成木地区文化祭 成木地区農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマン 加藤 信也</li> </ul> 小曾木地区農業祭 農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛蒡 青木 茂</li> </ul> 梅郷地区総合文化祭 農産物共進会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大根 福島 綾子</li> </ul> 三田地区総合文化祭 農産物共進会	内容および受賞者(敬称略)	

**普及センター等が開催するセミナーのご紹介 ～西多摩農業改良普及センターより～**

今回は、普及センター等で農業者向けに開催している各種セミナーのご紹介と次期募集のご案内です。営農経験が浅く基礎的な栽培技術や経営管理を学びたい方、販売する農家を目指したい方、企業的な農業経営者を目指したい方等、様々なステージに応じたセミナーを開催しています。

**1 農業実践力養成セミナー（次期募集あり、西多摩農業改良普及センター主催）**

西多摩地域で、営農経験が少なく基礎的な栽培技術を学びたい方、これから農業を開始しようという方、女性農業者等を対象としたセミナーです。指導農業士等先進的農家の協力を得て、実習を中心に栽培技術等を習得していただきます。

受講資格：概ね65歳未満で5a以上の農地を有し、販売農家を目指す方、販売を始めた方

募集定員：10名程度

研修期間：令和8年5月から令和9年3月（1年間）

内 容：野菜栽培、出荷調整、農薬安全使用、果樹の剪定管理等（10回程度）

受講料：無料（交通費など実費が必要になる場合があります）

申込方法：西多摩農業改良普及センター（下記連絡先）へ  
お申し込みください。

募集期間：令和8年2月中旬頃から令和8年3月31日（火）まで



実践力養成セミナーの様子

**2 経営力強化セミナー**

（次期募集あり、東京都と（公財）東京都農林水産振興財団が共同開催、JA東京中央会後援）

企業的な農業者や認定農業者、経営改善に意欲的な農業者に対し、経営者マインドを持った農業者を育成することを目的に、優良事例の研究及び経営に関する講座を中心としたセミナーを実施します。

受講資格：フレッシュ&Uターン農業後継者セミナーや公的機関の実施する一定の研修等を修了後、農業経営に一定期間従事した農業者

研修期間：令和8年4月から令和10年3月（2年間）

内 容：先進的技術の導入や経営者マインドを持った農業者の事例研究、今後の農業経営改善について（レポート形式）、農業経営に関する各種講座（2年間で13回程度）

受講料：無料（交通費など実費が必要になる場合があります）

申込方法：西多摩農業改良普及センター（下記連絡先）へお申し込み下さい。

募集期間：令和8年1月中旬頃から令和8年3月上旬まで

詳しくは西多摩農業改良普及センター（TEL: 0428（31）2374）までお問い合わせください。

## 地域計画の策定（地域農業経営基盤強化促進計画）

### 【地域計画とは？】

○農業者や地域のみなさんの話し合いにより策定される地域の将来の農地利用の姿を明確化した設計図です。おおむね10年後を見据え、担い手を含め、農地所有者、地域住民なども交えて話し合い、遊休農地の農業経営の発展に貢献する為の計画になります。令和7年末までに今寺・藤橋地区、小曾木・富岡地区、今井地区の三地区を策定しています。令和8年末には成木地区、三田地区の二地区の策定を予定しております。

### 【アンケート】

○農地所有者や農地の貸借者の方を対象に、農地の意向を確認するためのアンケート調査を2回実施しました。アンケート調査では、今後の農業経営の意向や後継者の有無、所有農地の方向性について回答いただきました。その結果、成木地区、三田地区を通して、10年後に農業を離農していると回答された方が多い結果となっています。

### 【協議の場】

○地域計画を策定する際に地域農業者の方や農地貸借者の方に地域農業について、現状や将来のあり方について話し合っていました。出された意見として、「各地区今後、高齢化が進行していくが、農地の維持管理が難しくなっていくのではないのだろうか。」「地域計画を作成することで、耕作放棄地が減少していくのではないか。」などの意見が参加された農業者の方からの意見として上がりました。また、不在地主が多い地区もあり、「今後どのように対応していくのか、考えていく必要がある。」との意見もありました。

### 【目標地図】

○目標地図は、10年後の農地集積を地図上に示した将来の農業のあり方を見える化していくものです。目標地図では、アンケート調査をもとに将来認定農業者等が担う農地、現状所有者等が耕作している農地に色分けを行い、現状の農地利用についての見える化を行っています。今後、農業者が減少する中で農地の集積化を目指すものになります。

成木地区協議の場当日①



三田地区協議の場当日②



## 農家にインタビュー！

第2弾！

### 大野寿樹さん「長寿園」

第2弾は農家の「後継者」にクローズアップして色々お話を聞かせて頂きました。今回、登場を頂きましたのは「長寿園の大野 寿樹さん」です。青梅市師岡で樹木販売、造園業、山林管理、等を大正時代から営んでおり、法人化してから4代目の後継者として27歳で家業についた方です。現在は社長である父と叔父、母、と本人の4名で業務を行っています。代々続いている実績のある長寿園を、意欲を持って更に発展させようとしている大野さんにお話を伺いました。

#### Q 家業を継承しようとしたきっかけは？

自分は小さい頃から家の手伝いを行い、父の働く姿（背中）を見ながら育ってきました。大学も造園関連の専門学科に自然に進み、社会人になってからも同業界の会社に就業して技術や経営ノウハウ等を身につけました。その中で、社会人として働くうちに自身の将来について漠然と考えることが多くなり、家業に対しての意識が自然と向くようになりました。そのような経験から、自身が家業に携わることで自らが関係を築きながら仕事を広げていきたいという思いが強まり、家業を継承する決意を固めました。



#### Q 今後の業務展開について

父（現社長）は地元との繋がりを大事にして業務を展開してきましたが、自分は今までの基盤の上に、大学の友人（同業就業者等）のネットワークの利用や、SNSを有効に使って業務を展開したいと思っています。

社業の3本柱として①**山林管理**：父の代から業務展開してきた「少花粉スギ、ヒノキ」の植樹及び管理等、公共事業の一環として社会貢献。②**苗の育成**：「少花粉樹木」も含め樹木苗の育成、特に公園や保育園等に設置する観賞用樹木の販売拡大。③**創業からの造園業**：これらを主軸に新しい時代に向けて柔軟に対応し頑張る所存です。



#### 〈インタビュー後記〉

★インタビュー中、大野さんの人柄で楽しい世間話も沢山させて頂きました。

大変な事も多々有るかと思いますが、農業経営に尽力され、人生これから頑張るぞ！という雰囲気伝わってきました。ありがとうございました。（編集 天野委員）

★今回のインタビューは、ご家族で経営されている長寿園で行わせて頂きました。

畑には、他では見ないような珍しい樹種も数多く、何種類有のかも把握出来ないそうです。ご家族、ご親族で力を合わせて仕事をされているのを、笑顔で楽しそうに話されていたのがとても印象的でした。（榎戸委員）

### 6次産業化支援事業補助金

市では、農林業者を中心として構成された団体が実施する6次産業化にかかる事業に要する経費を補助し、農林業経営の6次産業化の推進および農林業者と異業種との新たな連携を促し、地域産業の活性化と農林産物の販売拡大等を図っています。本補助金の活用について検討されている方は、市農林水産課までご相談ください。

#### 1 6次産業化の定義

農林産物の生産およびその加工または販売を一体的に行うことにより、農林産物の価値を高め、またはその加工もしくは販売の過程において新たな価値を生み出すことを目指す取組を行うこと。

#### 2 補助対象団体

市内の農林業者を中心として構成された団体。

#### 3 補助対象事業

市内の農林業者の6次産業化を支援し、推進するために行われる事業。

#### 4 補助対象経費

- (1) 新たな加工品の研究・開発にかかる経費
- (2) 加工品の商品化または販路拡大を行うための経費
- (3) その他特に必要と認められる経費

#### 5 補助金の交付額

補助対象経費の2分の1以内の額を市予算の範囲内で交付



【発行】毎週金曜日  
 【購読料】月額700円  
 (送料、消費税込)  
 【申込み】青梅市農業委員会まで

## 委員会活動日誌

(令和7年8月～令和8年1月)

### ○各種委員会開催状況 (令和7年8月～令和8年1月)

#### ◆農業委員会総会

第5回	8月25日	第6回	9月25日
第7回	10月27日	第8回	11月25日
第9回	12月26日	第10回	1月28日

#### ◆農業委員会専門部会等

土地部会	7月25日	10月27日
農政部会	11月25日	12月26日
経営部会	9月25日	10月11日

#### ◆催事等

内田農業振興会受賞祝賀会	12月26日
各地区農産物共進会	11月8,9,23日

#### ◆市内会議等

担い手育成総合支援協議会	8月7日
青梅市農業振興対策審議会	8月29日、11月28日
青梅市都市計画審議会	10月22日

### ○委員会開催結果 (令和7年8月～令和8年1月)

◎令和7年度

開催日	議案件数	会長専決 処理件数
第5回(8月25日)	12件	18件
第6回(9月25日)	16件	22件
第7回(10月27日)	15件	13件
第8回(11月25日)	16件	18件
第9回(12月26日)	15件	19件
第10回(1月28日)	16件	14件

### 農業者年金に加入しましょう

次の3つの要件を満たす人は加入できます!

- ① 20歳以上60歳未満
- ② 農業に60日以上従事
- ③ 国民年金第1号被保険者



保険料は?月2万円～6万7千円のあいだで設定できます。  
 節税効果!保険料が全額社会保険料控除の対象になります。  
 いつでも脱退可能!1か月でも積み立てた保険料は受給OK。  
 申込みは?青梅市農業委員会または農協へ